

瓦谷山



瓦谷山だより



vol.43

発行日 2020年2月20日

発行人 (宗) 真光寺

岡本和幸

印 刷 現代社

(宗) 真光寺

問い合わせ先

(宗) 真光寺

TEL 0438-75-7414

○お寺HP

<http://www.shinko-ji.jp/>

○上総自然学校HP

<http://www.shinko-ji.jp/satoyama/>

○お寺ブログ【瓦谷山たより】

<http://shinkoji.cocolog-nifty.com/news/>

ごあいさつ

初頭から中東のきな臭いニュースで始まつた令和二年です。旅客機の撃墜事件まで起きました。調べてみると、この地域の紛争は一九四八年の第一次中東戦争からずっと続いています。イランとアメリカの対立の構図は一九七八年のイラン革命に端を発しますが、古くは第一次世界大戦にまで遡り、憎しみの連鎖が世紀をまたいで続いていることがわかります。一度起こつた争いを収めることができないのは人間の性なのかと思います。お釈迦様がいわれるよう、憎しみの連鎖を断ち切る以外に平和に向かうことはできないのでしょうか。それはとても大変なことです。

さて私は昨年十一月、タイとミャンマーを旅してまいりました。

シャンティ国際ボランティア会の仕事で、タイ国境に点在するミャンマー（ビルマ）難民キャンプ最大のメラキャンプを訪問するためです。キャンプに到着後、キャンプの住民組織の方々とお話ししたのですが、「和平合意によつて住民の帰還が始まっているものの、残念ながらあまり進んでいない」と伺いました。長い年月が経過してしまつたことで、仕事や生活の心配はもちろん、未だに戦闘が続いている場所もあります。さらには地雷などへの心配から、なかなか帰るという状況にはならないようです。一度はふるさとミャンマーに帰国しながらも、難民キャンプへ戻つて来る方も多いそうです。

その後タイのメーソットから橋を渡り、国境を越えてミャンマーのミヤワディーへ。街から30分程度のところにあるレイケイーコー村のコミュニティリソースセンターの開所式に出席しました。こちらは難民の方々の帰還を促進するため、いくつかの組織や団体がミャンマー政府と協力しながら環境整備を行なつてある村の一つです。あまり知られていませんが、難民の帰還事業に日本が大きく関わっています。帰還促進のための住宅、学校、インフラの整備を日本が支援しているのです。

ムの改善などの事業を行なつています。住民の熱烈な歓迎を受け、また住民代表の方が「元の住民も新しい住民もこの建物で学習したり、話しながら学び共に生きよう」と挨拶されるのを聞いて、シャンティの難民キャンプでの図書館活動が、人々の心に届いていたのだなと感動しました。

紛争地といえばどんよりとした雰囲気、遅れたインフラ、人の心は荒んでいるイメージがあるかと思いますが、空はどこまでも青く、緑は深く、人々は善良。穏やかな暮らし、ゆったりとした時間が流れています。問題は人の心です。融和と共生が早く実現できるように祈ります。憎しみの連鎖が断ち切られるように。

まもなく桜の季節、皆様のご参詣をお待ちしています。

真光寺住職 岡本和幸

合掌



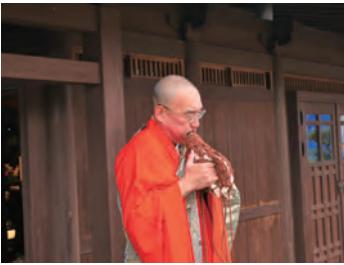
レイケイーコー村のコミュニティリソースセンター開所式



モン州にあるチャイティーヨー・パゴダ
(通称:ゴールデンロック)

◇年頭祈祷（元日～三日）

新年の室内安全・商売繁盛・厄除け・諸願成就を祈念し、恒例の祈祷法要を行いました。平成二十四年より個別の祈祷法要を始め、当時は三日間で十五座程度でしたが、今年は四十三座にまで増えました。祈祷の願目は、皆さま自由にお申し出ただけます。是非、初詣は毎年真光寺へお出かけ下さい。



祈祷法要の初めには法螺貝を吹きます。法螺の音が法界に充ち、道場に十六善神を呼び寄せるといいます。



◇お焚き上げ供養

一月の七日法要の午後は、恒例のお焚き上げ供養を行いました。前年、ご自身やご家族を護つてくれた御守りや、新年の正月飾りなど、作法に基づき供養の上、お焚き上げします。後の灰は五穀豊穣を願い、お寺の烟や田んぼへと撒きました。

当山でお出しした御守りだけではなく、他のお寺や神社の御守りもお預かり致します。また古いお位牌や節句の人形などもご供養致しますので、整理にお困りの方はお気軽にご相談下さい。

◇修正会寄席

一月三日、檀信徒年頭法要の修正会を厳修。今回のチャリティ寄席は漫談家の『一矢』さんをお呼びいたしました。相撲の呼び出しの衣装で漫談をする一矢さん、以前は巨人軍のイベントの司会者としても活躍されていましたそうです。



ご寄進者ご芳名

金式拾萬円	伊達教久 様
金拾伍萬円	糸魚川勝彦 様
金拾伍萬円	本田博昭 様
金伍萬円	加藤文代 様
金伍萬円	徳永瀧乃 様
金伍萬円	渡辺裕吾 様
金伍萬円	吉岡一郎 様
金伍萬円	中川昭弘 様
金伍萬円	西村原員 様
金参萬円	鈴木聰 様
金壹萬円	内藤雅雄 様

四天王像・木魚

木魚



奉納布施 一口 10万円
施主名を木魚の裏面、台座等に記名いたします。

四天王像



奉納布施 一体 5万円
守護神をお選びいただき、供養願文、祈願文、施主名等を台座に記名いたします。

真光寺では、諸堂に安置する四天王像、木魚のご奉納のご案内をしております。四天王は帝釈天に仕え仏教世界の東西南北を守る守護神であります。木魚は玉鳳銘の楠木製木魚、二尺の大型のものです。

ご奉納くださる場合は、事務所にお申し出ください。

薬師堂並びに坐禅堂建設計画

寺報第四十号では薬師堂並びに坐禅堂の概要、位置づけについてご報告いたしました。今回は完成が近づいております建設工事の進捗状況をご報告いたします。

工事は、予定地の地面を掘削することから始まりました。お堂は二階建てになります。平屋である他の建物との高さのバランスをとるために、一階部分の坐禅堂を半地下としました。そのため、



建設中の薬師堂

約五百³m³の土を取り除き、お堂が建つ地盤を三メートル以上下げました。

掘削作業後には直ぐに基礎工事と一階部分の擁壁工事に取り掛かりました。この工程では何回にも分けてコンクリートを打つていくため、四ヶ月という長い期間と手間を要しました。擁壁工事は、地上から三メートル以上建設位置を掘り下げたために周囲が崖になっているので、崩れないようにするための工事です。職人さんがたくさん長い鉄筋や型枠を組んでいく作業は圧巻でした。



基礎及び擁壁工事の様子

次の段階は、屋根工事です。薬師堂は方形造り（ほうぎょううづくり）の建物であるということは寺報第四十号でお伝えしましたが、この屋根の造りは真光寺の他の建物にはない形です。まず、垂木や隅木を組んで屋根の下地を作つて行きまし

・梁・棟を組んでいく、建て方の作業になりました。ここからは大工さんの出番なのですが、現場での作業が始まる前から、基礎工事や擁壁工事と同時並行で、柱や梁などの材料の墨付け・加工を進めていました。建て方の作業は数日で完了し、薬師堂の骨組みが出来上がりました。



薬師堂のシンボルである宝珠



内装工事中の二階薬師堂の中

た。方形造りの屋根には四本の長い隅木が組まれましたが、大工さんのお話では、その隅木を綺麗に反るよう加工するのが薬師堂の工事の中で最も大変だったそうです。

屋根の下地が出来た後は、隅棟に素焼瓦を、それ以外の所にガルバリウム鋼板を葺いていきました。さらに屋根の最上部には薬師堂のシンボルで瓦と同じ材の宝珠が設置され、これにて薬師堂の屋根は完成となりました。屋根が出来上がったことにより、建物の存在感がより一層増しました。

屋根が仕上がり、続いて内装工事です。現在は



綺麗に張られていく薬師堂の床板

大工さんの手によって床板を張る作業が進められている段階です。内装には綺麗に見えるよう様々な工夫が施されています。例えば、床板を張る際にどうしても板と板との間にはつなぎ目が出来てしまいますが、列が変わることに等間隔でつなぎ目がずれていくように床板を張つていくことによって綺麗に仕上ります。その他にも、床板の木材の節が一ヶ所に集中しないように材の配置も考えて張られています。

また、お堂全体には檜木が多く使われております。檜木は湿気に強く、加工がしやすい上、木目も綺麗なため、他の木材に比べても万能な木

材です。柱や床板、湿気の影響を受けやすい箇所にはすべて檜木が用いられています。

ここまでが建設開始から現段階に到るまでの作業工程になります。今後はまだ左官工事や外壁の塗装、回廊作りや手すりの設置等の工程が残っていますが、今年の四月頃の完成を予定しております。

薬師堂並びに坐禅堂が完成した暁には、是非御参拝いただければと思います。

令和二年 回表

百 回	忌 大 正 十 年	一 周 三 回 七 回 十三 回 十七 回 二十三 回 二十七 回 三十三 回 三十七 回 五十 回 忌 昭 和 四 十六 年	忌 令 和 元 年 平 成 三十 年 二十六 年 二十 六年 十六 年 平 成 十 六年 平 成 六 年 昭 和 六 十三 年 昭 和 五 十九 年

台風被害の復旧作業

十五号、十九号、二十一号と立て続けにやつてきた三つの大型台風により、大きな被害を受けた里山ですが、年明けから田んぼの復旧作業を加速させております。年末まで雨の多い冬でしたが、正月の晴天のおかげでやつとこさ乾き始めました。

重機を必要とする復旧作業はお寺の近所に住んでいる土木エキスパートの檀家さんにお願いして、土砂崩



重機を使えば復旧作業はあっという間。檀家さんは心強い存在です。

イベントだより



新米と収穫した野菜をいただきました



折れた枝を集めて焚き火で焼き芋



自然薯の収穫体験。2本もとれちゃった!

里山の忘年会

一年間の活動を労おう。ということで集まって下さった皆様には、自然薯やキノコの収穫体験の他、台風で折れた枝を拾い集めて焚き火したり焼き芋したり新米を食べたりして冬の里山を満喫していただき、里山にもお疲れさまを告げました。また今年もたくさんのかたのご参加をお待ちしております。

れ二か所と、水路の浚渫（水底をさらつて土砂などを取り除くこと）を行いました。まだまだ、やらねばならないことは盛沢山ですが、大きな被害箇所が復旧できたことで、少しほっとしています。浚渫をした水路では、二日後カワセミがやって来て、ドジョウを捕まえていました。もうすぐ、アカガエルの産卵の季節。春がやって来ます。



倒木処理などまだまだやることはたくさん

2020年 イベントのご案内

皆様のご参加をお待ちしております！

- ・2月16日（日） 野鳥観察会
- ・3月28日（土） お花見トレッキング
- ・4月11日（土） 田んぼの畔塗りと稻苗作り
- ・4月12日（日） 田んぼの畔塗りと稻苗作り
- ・4月19日（日） 巨木巡りと里山トレッキング

- ・5月 9日（土） 田植え
- ・5月10日（日） 田植え
- ・5月30日（土） 水路の生き物観察会
- ・6月 6日（土） 田んぼの草取りとホタル観賞

※各イベントの詳細は上総自然学校のHPをご覧ください。

自然学校で育てた色米と自然薯を 道の駅・直売所にて販売中です

自然学校で育てている色米と自然薯。今までお寺の中と配達での販売のみでしたが、この度、木更津の道の駅「うまくたの里」、市原の「あずの里」、君津の直売所「うまくたの里」、市原の浦の「ファームコート」の四店舗にて販売させていただきました。それぞれとても個性があり、魅力的なお店です。初めての経験なので試行錯誤中ですが、多くの方にお寺と自然学校の活動を知つてもらえたと嬉しいです。近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



◇道の駅・直売所のご紹介

農産物を置かせていただいている道の駅、直売所をご紹介します。

うまくたの里

木更津をはじめ、千葉県内各地の名産品が二千点以上集まっている大きな道の駅です。

お寺の近くにある「のうえんカフェ」もレストランを出店していて、かずさの新鮮な野菜をふんだんに使用したランチプレートが味わえます。

住所…千葉県木更津市下郡一三六九一
電話…〇四三八一五三一七一五五



あずの里

市原産の農産物をはじめ、総菜、市原みやげが揃っています。軽食コーナーでは、米粉手打ちうどんやジエラートなどが食べられます。また、要予約でBBQが楽しめる市原市農業センターも隣接しています。

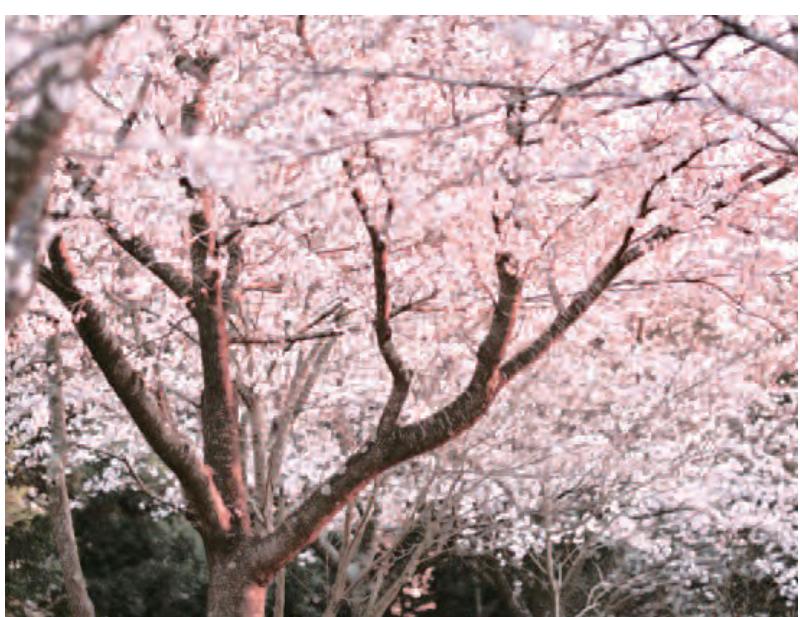
住所…千葉県市原市浅井小向四九二一
電話…〇四三六一三七一八八九一



真光寺 春のお花見さんぽ 開催のお知らせ

昨年の縁の会総会で開催し、好評をいただきました里山散歩に引き続き、真光寺のお散歩企画第二弾を開催したいと思います。今回は里山と真光寺境内の桜をお花見しながらお散歩します。桜や春の植物を堪能したあとはお弁当を召し上がっていただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

- ・開催予定日…令和二年三月二十九日（日）
- ・詳しくは別紙のチラシを御覧ください。



上総自然学校 フィールドの 希少な生き物たち

第二回・ノスリ

詩人 大島 健夫

里山を愛する詩人、大島さんによる里山の生き物紹介。第二回となる今回は里山の生態系の頂点に君臨する猛禽類、「ノスリ」をご紹介いただきます。実は私達の身近に生息している猛禽類。その生態とそれにまつわるあれこれを知つていただければと思います。

「生態系ピラミッド」という言葉があります。

ざつくりと説明しますと、例えはここに、動物の死骸や排泄物があったとします。するとまず、ミズやダンゴムシが、それらを分解して土に変え、土からは植物が生育します。植物には昆虫が集まり、その昆虫を食べようと、もっと大きな昆虫や、両生類、爬虫類、鳥類がやってきます。さらにそうした大きな昆虫や両生類・爬虫類・鳥類などを食べるべく、哺乳類や大型鳥類がやってきます。そして、彼らの食べ残しや排泄物などは、また分解されて土に還つていくわけです。

当然のことながら、食べる側は常に食べられる側よりも数が少なくなければ、このピラミッドは成立しません。

サシバが両生類・爬虫類をよく捕食するのに対し、ノスリはネズミやモグラなどの哺乳類を好むようですが、早春のアカガエルの産卵期には、水場に下り、脚まで水に浸かってカエルを捕つていい様子も散見されます。また、たまには小鳥や昆虫を食べたりもします。カラスよりも少し大きい鳥の方が多かつたら食べられる側は減んでしまい、ピラミッドはひっくり返った上に中間がざつくりと抜けで大崩壊、生物多様性は完全に失われて生態系はジ・エンドということになってしまいます。ということは、今回取り上げるこのノスリのような、地域の生態系ピラミッドの



獲物を探す顔もどことなく愛らしい

頂点付近に君臨する猛禽類が安定的に生息できている場所は、とりもなおさず、そのピラミッドの下部にある豊かな生態系をまるごと、健全に維持できているということになるわけです。

房総半島の里山の代表的なタカといえば、夏は

サシバ、冬はこのノスリでしょう。

ノスリは、上総自然学校フィールドでは、十一月頃から姿を見せ始め、三月から四月には北の繁

の貫禄があり、遠くから見ても「おお、ノスリがいるわい」と思います。付け加えるなら、猛禽というのはだいたいが怖い顔をしているものなので、このノスリはそうでもなく、意外と目つきが可愛いのもチャームポイントです。飛んでいる時には、翼の「肘」のあたりの黒い模様が目立ち、他のタカと区別することができま

す。

「ノスリ」



他のタカたちとの違いは肘の辺りの黒い模様

といふのが知られています。なぜこんな名前がついたのかというと、先に書いたようにネズミなどを好み、鳥は偶発的に食べるに過ぎないこのタカが、小鳥を対象とした鷹狩りにはあまり向いていなかつたからしく、平安時代の辞典にまで「久曾止比(くそとび)」と掲載されているという

瓦谷山だより

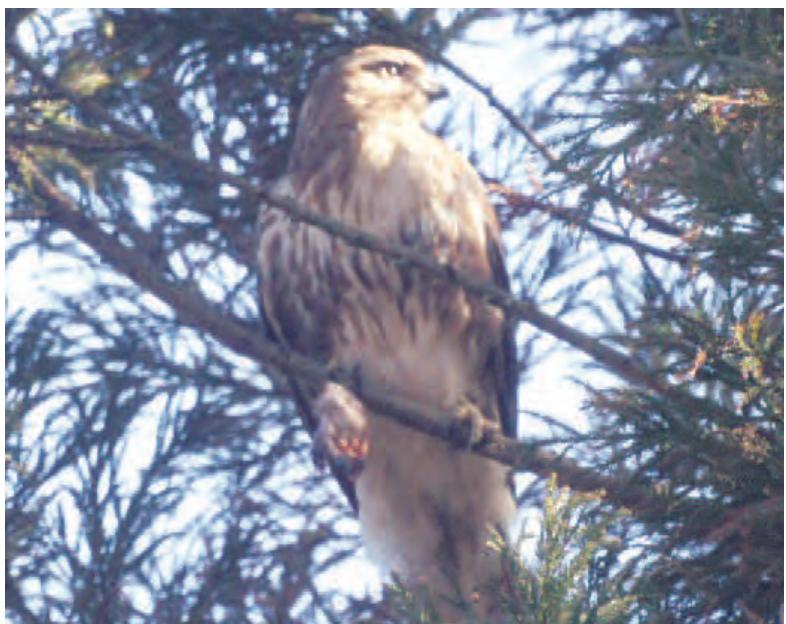
情けなさ。しかし、鷹狩りを楽しむ支配階級にはウケが悪かつたこのノスリ、大量のネズミを狩るのですから、間違いなく農家の味方でもあつたはずです。多様な生物を養う生態系。ピラミッドが存在する里山という装置を介することで、人間とノスリはワインの関係を維持できるのです。





木立をすり抜けるように飛び回ります

きています。農家の高齢化や農業そのものの衰退による耕作放棄、開発の進行。荒れ果てて姿を変えた谷津田や斜面林は、ノスリを頂点としたピラミッドを成立させるほどの生物量と生物多様性を持つことができません。千葉県のレッドリストには、ノスリは「C（要保護生物）」として記載されています。近隣を見渡せば、埼玉県のレッドデータベースでは「NT2（準絶滅危惧）」、東京都では「E（絶滅危惧I類）」、神奈川県では「VU（絶滅危惧II類）」としてそれぞれ記載されています。要するに、あちらこちらでその生存



里山を取り巻く環境の変化は、アリの目にはどうのうかに写っているのである。

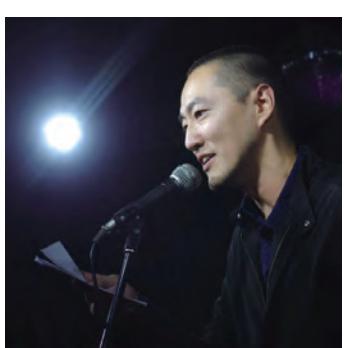
は、安房の嶺岡牧場で、二ホンオオカミが毎年二十頭ほども捕殺されていたというのです。一体どれほどの大きさの生態系ピラミッド、どれほどの生物量と多様性があつたことでしょう。実際のところ、その時代を生きた著名な人物、例えば最後の將軍・徳川慶喜や、新選組の斎藤一は大正期まで存命していました。私の祖父などは明治生まれですから、いまを生きる我々とその時代とは、まだぎりぎり地続きなのです。

オオカミもカワウソもいなくとも、上総自然学校フィールドには、そうした「昔の日本」の片鱗が残っています。毎年必ずノスリがやってくる。そのノスリを養うだけの生態系が存在する。それは本当に素晴らしいことです。

ノスリ Buteo japonicus タカ目タカ科
千葉県RDB・C（最重要保護生物）

詩人。1974年千葉県生まれ。2014年、24時間ワンマン朗読ライブ完遂。詩の朗読の日本選手権・ポエトリースラムジャパン2014優勝。パリで開催されたポエトリースラムW杯で準決勝進出。一方でネイチャーガイドとしても活動。千葉





野生動植物種保存推進
環境省希少
嘱託職員 員。

行事予定

精進料理と聖典講読の会 《どなたでも参加できます》

日時：3月30日（月） 5月27日（水）
 4月20日（月） 6月30日（火）
 午前11時～午後2時30分
 費用：3,000円 昼食付（精進料理）
 場所：真光寺

住職による『正法眼蔵隨聞記』の解説の後、一緒に食事をして、午後は坐禅または写経を行います。昼食は、真光寺手作り精進料理や手打ちそばをお楽しみいただきます。



旅行の写真を見ながら雑談することもあります

ご詠歌練習日 《どなたでも参加できます》

日時：3月10日・24日 6月9日・23日
 4月14日・28日 7月7日・21日
 5月12日
 5月～9月は19時半・10月～4月は19時より
 費用：無料
 場所：真光寺

※ご詠歌は、お釈迦さまの教えを讃え、ご先祖さまをうやまう心をやさしい旋律にのせお唱えするものです。
 先生は君津市の徳常寺方丈さまです。



山門施食会で練習の成果を披露

仏像彫刻教室 《どなたでも参加できます》

日時：毎月第1・第3水曜日
 13時30分～16時30分
 費用：3,500円 / 1回参加
 場所：真光寺（参加者が3名以上で開催）
 仏師の鈴木謙太郎先生にご指導頂き仏像を彫っていきます。初めての方でも大丈夫です。それぞれの方に応じたペースで、取り組みます。
 ※要予約



丁寧に指導いたします

坐禅会 《どなたでも参加できます》

日時：毎月第2・第4土曜日
 15時～16時30分
 初心者の方もやさしくご指導いたしますので気軽にご参加ください。脚がくめない方は椅子を使って参加して頂けます。休憩をはさんで2回坐禅をくみます。終了後は、僧侶と一緒に茶話会もございます。
 ※初めて坐禅をされる方は、簡単な説明を致しますので14時30分までにお越し下さい。



心静かに坐る時間

行事予定

【真光寺と駅、バスターミナル間の送迎もありますのでご希望の方は裏表紙をご参照ください。】

春彼岸法要

《檀信徒》

日時：3月20日（金祝）14時より

春のお彼岸供養を行います。法要後には余興を予定しております。

花まつり法要

《檀信徒》

日時：4月5日（日）11時より

お釈迦様の誕生をお祝いし、法要後に檀信徒総会を行います。

戒名を考える会

《縁の会会員 特に未授戒の方》

日時：3月31日（火）午前11時より午後2時半

費用：3,000円（昼食付）

定員：20名

戒名を考えることは、人生を振り返ることです。午前中は戒名にまつわる仏教知識を学び、昼食に精進料理を頂きます。午後は住職指導のもと、実際にご自身の戒名を考えます。考えた戒名は後日の授戒式にて正式に住職よりお授けし、位牌に刻銘の上、観音堂にご安置します。

※要予約

※持ち物：漢和辞典



真光寺囲碁の会

初心者入門基礎講座

《どなたでも参加できます》

日時：4月8日（水）～9日（木）

14時から翌日13時30分解散

費用：8,000円 1泊3食

場所：真光寺

初心者の方から有段者の方まで、どなたでも気軽にご参加いただけます。囲碁をはじめてみたい方や自分の実力を試したい方、囲碁の仲間を増やしたい方は是非ご参加下さい。日帰りの参加も可能ですのでお問い合わせください。

※要予約



縁の会春彼岸法要

《縁の会会員》

日時：3月20日（金祝）11時より

縁の会の春彼岸法要を行います。

昼食（お弁当）のご用意を致しますので、参列申込みの際にお弁当の要・不要をお伝え下さい。

欠席の場合でもお塔婆のみのご供養もお受け致しますのでお申し付け下さい。

※要予約

七日法要

《縁の会会員》

日時：3月7日（土） 11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）午後は坐禅・写経・写仏

4月7日（火） 11時より授戒式・月例供養、昼食（お弁当）午後は花まつり法要と植樹祭

5月7日（木） 11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）午後は坐禅・写経・写仏

6月7日（日） 11時より授戒式・月例供養、昼食（精進料理）午後は坐禅・写経・写仏

7月7日（火） 11時より授戒式・月例供養、昼食（お弁当）午後は縁の会施食法要

8月11日（火） 11時（午前の部）・13時半（午後の部）縁の会施食法要

※要予約 午前、午後のみの出席もできます。

7月・8月の盆施食法要の詳細につきましては、次号6月発行予定の瓦谷山だよりに掲載いたします。

団体参拝旅行



今回の旅では、当真光寺の薬師堂完成披露を行います。五月の新緑が眩しく、真光寺境内の隅々まで生気がみなぎるこの時に、新しいお堂を皆さまにお披露目いたしました。企画しました。ピカピカの薬師堂で法要を修行した後は皆さまの親交を深めていたく席を鴨川温泉にて設けた二日目は千葉県南部の定番観光コースをめぐります。台風十五号の影響で、お仲間とお過ごしいただくことでのんびりお体にご負担の少ない日程で、是非ご参加ください。お体に取り戻しつつあります。直後の大山千枚田など、観光を楽しめます。お堂建設の糸余曲折などを肴にご歓談いただければと思います。



日程:令和2年5月17日(日)~18日(月) 旅行代金28,000円

薬師堂・坐禅堂完成披露と南房総復興支援の旅

送迎のご案内【午前】

□電車の方

- ・上り電車の方（君津発逗子行き）
JR内房線「袖ヶ浦駅」10時05分着
- ・下り電車の方（快速君津行き）
JR内房線「袖ヶ浦駅」10時10分着

□バスの方

【土日祝】

- ・品川発9時00分→袖ヶ浦BT9時52分着
- ・横浜発9時00分→袖ヶ浦BT9時46分着
- ・川崎発8時55分→袖ヶ浦BT9時57分着
- ・新宿発8時50分→袖ヶ浦BT9時48分着
- ・東京発9時15分→袖ヶ浦BT10時03分着

【平 日】

- ・品川発9時00分→袖ヶ浦BT9時52分着
- ・横浜発9時00分→袖ヶ浦BT9時46分着
- ・川崎発9時00分→袖ヶ浦BT10時02分着
- ・新宿発8時50分→袖ヶ浦BT9時48分着
- ・東京発9時15分→袖ヶ浦BT10時03分着

送迎のご案内【午後】

□電車の方

- ・上り電車の方（木更津発普通千葉行き）
JR内房線「袖ヶ浦駅」12時51分着
- ・下り電車の方（千葉発普通君津行き）
JR内房線「袖ヶ浦駅」12時50分着
(千葉12時18分発)

□バスの方

【土日祝】

- ・品川発11時35分→袖ヶ浦BT12時27分着
- ・横浜発12時00分→袖ヶ浦BT12時46分着
- ・川崎発11時45分→袖ヶ浦BT12時47分着
- ・新宿発11時50分→袖ヶ浦BT12時55分着
- ・東京発11時50分→袖ヶ浦BT12時38分着

【平 日】

- ・品川発11時50分→袖ヶ浦BT12時42分着
- ・横浜発12時00分→袖ヶ浦BT12時46分着
- ・川崎発11時45分→袖ヶ浦BT12時47分着
- ・新宿発11時50分→袖ヶ浦BT12時55分着
- ・東京発11時50分→袖ヶ浦BT12時38分着

各種お申込み連絡先

真光寺 〒299-0201 千葉県袖ヶ浦市川原井634

TEL 0438-75-7414 (代表) TEL 0438-75-7365 (縁の会事務局) FAX 0438-75-7630

e-mail ennokai@shinko-ji.jp (縁の会)

satoyama@shinko-ji.jp (上総自然学校)